

KADOMA PHOTO NEWS

インドから門真市へ サッカー留学生たちと汗を流す



門真市出身の吉田泰輝さんとインドのサッカーアカデミーの子どもたちが、門真市にサッカー留学に訪れました。今回の留学は、インドの子どもたちがサッカーへのモチベーションを向上し、継続する力を育むため吉田さんが企画し、個人事業主や支援者からの寄附で実現したものです。

留学生たちは、市内で活動する門真沖サッカーチームとガンバ門真ジュニアユース/ジュニアと一緒に交流を兼ねた練習を行いました。

市内で交流をした選手同士が、将来各国の代表として国際試合で対戦することを期待しています。



左から吉田泰輝さん、ボナツパさん(12歳)、宮本市長、アルナブさん(12歳)、ローハンさん(13歳)



カンボジアに届けた門真のあかり

1年間に皆さんから「みんなで“AKARI”アクション」のボックスに寄附された本やCDなどをソーラーランタンに換えカンボジアの無電化地域に届けました。

電気がつくことで、夜に読書や勉強ができるようになり、届けた「あかり」は村の人々を笑顔にしました。

市では引き続き世界の皆さんが笑顔になれるよう本などの回収ボックスの設置をしています。

◆「みんなで“AKARI”アクション」とは

門真市とパナソニックホールディングス(株)が協働し、読み終えた本やCDをリサイクルによりソーラーランタンに換え、世界の無電化地域にあかりを送る活動です。



詳しくはこちら▶



祝 開館30周年

文化芸術を未来へ繋ぐ 華やかな式典

5月1日、開館30周年を迎えた門真市民文化会館ルミエールホールで記念式典が開催されました。

第1部では宮本市長による祝辞の後、郷土芸能ひんや節が披露され、第2部では門真市音楽協会推薦の若手ソリストが、関西フィルハーモニー管弦楽団による弦楽アンサンブルと共演。

門真市における文化芸術の「昔から今、そして未来へ」と繋ぐ華やかな式典となりました。



弁天池公園スプリングカーニバル

4月29日、弁天池公園スプリングカーニバルが開催され、約4000人が来場しました。

当日は天気にも恵まれ、特設ステージは、門真市イメージキャラクター「ガラスケ」や各地のご当地キャラクターが登場し、イベントを盛り上げました。

会場では、2025年大阪・関西万博PRブースが設けられ、門真市制60周年を記念したマリーゴールドの苗800株で描かれた60の文字が会場を彩りました。

